

上毛町教育委員会だより



学校におけるオリンピック・パラリンピック教育

南吉富小学校の取組

国では、オリンピック・パラリンピック東京大会開催に向けて、様々な取組を行っています。

そのような中、南吉富小学校では、スポーツ庁及び福岡県が推進するオリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業を受けて、スポーツの価値や効果、国際的な視野を持って世界の平和に向けて活躍できる子どもたちを育成するオリンピック・パラリンピック教育を行っています。

子どもたちは、この教育を通して、オリンピック・パラリンピックそのものについての知識、参加選手の体験やエピソードそして、オリンピック・パラリンピックを通じたスポーツの価値、参加国・地域の文化、共生社会などについて学習しています。

11月には、車いすバスケット元日本代表でライジングゼファーフクオカ所属の福澤翔氏を招いて講演をして頂き、車イスバスケットを体験する活動を5、6年生が行いました。

パラリンピックは、様々な障がいのあるアスリートが、公平に個性や能力を発揮し活躍できる世界最高峰の競技大会です。できないことに着目するのではなく、「どうしたらできるのか」という視点で創意工夫し、限界に挑む大会です。

福澤氏の話から子どもたちは、スポーツを行うことの意義や社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や発想の転換の大切さを感じ、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まると共にスポーツのもつ楽しさを実感することができたようです。



令和2年度 社会福祉功労者 県知事感謝状受賞

福岡県では、社会福祉増進のため献身的に活動を続け、地域社会の福祉向上に貢献した方を社会福祉功労者として表彰しています。

この度、ボランティア功労者として外出支援グループ和(なごみ)が、15年以上の長きにわたる活動を認められ感謝状を授与されました。

今後も引き続き高齢者の外出支援を続けていきたいと藤本会長より力強いお言葉をいただきました。



Auld Lang Syne

I wrote before about a famous Scottish poet called Robert Burns. Today I want to introduce one of his most famous songs to you, but actually I am sure you will have heard it before. In Japan, when shops are closing, many of them will play the same song. This song is called "Auld Lang Syne" and it was written by burns.

The name and the song is written in old Scots dialect but can be translated to 「long ago」or「old times」in Japanese. The song's meaning is that it is better to remember the old times and to remember old friendships. It is also often thought to have a meaning of farewell. Because of its meaning, it is traditionally sung at 00:00 on New Year's Eve (called Hogmanay in Scots), not only in Scotland but in many countries like Australia, America, England etc.. If you go to a New Year party, a wedding etc. Auld Lang Syne will be the last dance and everyone will join hands in a circle while singing it.

♪ オールド・ラング・ザイン「蛍の光」

Should old acquaintance be forgot

シュード オールド アクエンタンス ビ フォゴット

古き友は忘れ去られ

And never brought to mind?

アンド ネーバ ポロット ツ マイン?

思い出されることもないのだろうか

Should old acquaintance be forgot

シュード オールド アクエンタンス ビ フォゴット

古き友は忘れ去られ、古き良き日々の記憶もまた

And auld lang syne?

アンド オールドラング ザイン

心から消え去ってしまうのだろうか

Chorus:

コーラス:

コーラス:

For auld lang syne my dear

フォ オールドラング ザイン マイ ディア

親愛なる友よ

For auld lang syne

フォ オールドラング ザイン

古き良き日々のために

We'll tak' a cup o' kindness yet

ウイル タク アカップ オ カインドネス イェット

親愛なるこの一杯を飲み交わそうではないか

For auld lang syne

フォ オールドラング ザイン

古き良き日々のために

オールド・ラング・ザイン

ALT(外国語指導助手)ロビン

私は以前、ロバート・バーンズという、スコットランドの有名な詩人について書きました。今日は、彼の最も有名な曲の一つを紹介したいと思います。皆さんは必ず聞いたことがあるはずですが、皆さんはほとんどのお店が、閉店の時にこの曲を流します。この曲は「オールド・ラング・ザイン」という曲で、バーンズによって書かれました。

曲名と歌詞は、昔のスコットランドの方言で書かれています。日本語では「昔」と訳しますが、この曲には、昔のことや昔の友情は忘れずに心に留めておいた方がよい、という意味があります。また、お別れの意味もあるため(前の年にお別れするという意味で)、スコットランドだけではなく、オーストラリアやアメリカ、イングランドなどの多くの国々でも、(年越しの)0時0分に伝統的に歌われます。(スコットランドの方言では「ホグマネイ」と呼ばれます。)もし、ニューイヤーパーティーや結婚式に行ったら、最後にみんなで手をつないで円になり、歌いながらオールド・ラング・ザインを踊るでしょう。

